

令和4年度 南三陸町立入谷小学校

第2回 学校運営協議会 記録

《欠席：菅原 文雄 様、山内 敏裕 様、佐藤 貞美 様、阿部 雅美 様、渡邊 陽介 様》

1 開会（進行：教頭 千葉 正康）

2 開会の挨拶

(1) 南三陸町教育委員会 教育長 齊藤 明 様

- ・ 入谷小学校の取組は、今年で4年目になる。地域と学校が目標（ビジョン）を共有し、地域と共にある学校を目指して教育活動が行われているかを評価してほしい。

(2) 学校運営協議会 会長 阿部 國博 様

- ・ 年々、新型コロナウイルス感染症の対応が変わっている。
- ・ 学芸会でも制約はあったが、打囃子の発表は地域の多くの方々に見せたい発表となつた。

3 学校長挨拶（校長 石田 隆幸）

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、様々な行事や学習活動において、地域の方々の協力をいただくことができた。
- ・ 今年度同様に、次年度も委員の皆様に御指導を頂戴しながら、教育活動を行っていく。

4 報告・協議（議長 阿部 國博 様）

(1) これまでの学校教育活動の取組について（主幹教諭 松岡 清貴）

※ 別紙のスライド資料参照

(2) 今後のコミュニティ・スクールの取組について

※ 各部会の話合い

(3) 各部会で協議した内容の報告

① 学習支援部会（教諭 佐々木 大堯）

- ・ 3・4年生で行った生き物調査では、「ナマズの学校」の代表の三塚牧夫様より、生物について詳しく教わり、児童にとって良い体験学習となつた。今後、より多くの方々と児童が学ぶ機会にしたい。
- ・ 3年生は、今年初めて高長醸造の高橋長泰様から味噌の秘密について教わった。佐藤貞美様から体験的にも教わることで、児童は味噌に対する興味・関心が高まつていく。
- ・ 4年生の養蚕では、学校周辺でも桑の葉を取るようにした。今後は、同じように養蚕をして、桑の葉も育てている戸倉小学校の取組を参考にしていきたい。
- ・ 6年生の地域学習では、学習の成果の場として、地域のためにできることを発信することが大切である。校内での発表や、ホームページ等で広く知らせることを今後も継続したい。

② 安心・安全部会（主幹教諭 松岡 清貴）

- ・ 地域の危険箇所については、修繕について地域としても働き掛ける。ただ、通学路にある倒壊しそうな家屋等については、地区ごとの対応が求められる。
- ・ 高学年の防災学習について、中学校とのつながりを見据えつつ、地域に長くから住んでいる方々の経験や知識をいただきながら、児童自らが課題を設定していくようにしたい。
- ・ 道路の歩き方について、危ない歩き方をしている児童の情報が寄せられる。地域

の方への挨拶が不十分であるという声も聞かれるので、児童の下校時刻に合わせて地域の方々に見守りをしていただく中で、児童に挨拶する機会をつくっていただきたいという取組も検討したい。

③ 交流活動部（教諭 山内 恵美子）

○ 打囃子学習会を今後も持続可能な取組にしていきたい。そのために必要な手立てについて、以下のような意見が出された。

- ・ わらじが児童の足に合わなくなってきた。毎年、5足くらいずつ新調していくように、地域の方の御協力を仰いでいく。
- ・ 衣装の正しい着付け方について、入谷婦人会の方々に教わる様子を撮影して、次回以降に活かせるようにしたい。
- ・ 大太鼓・小太鼓・かさの花付け・金色の飾り等のメンテナンスについて、PTAを始め、地域の方の御協力を仰いでいく。また、太鼓のバチを作ってもらうことも併せて御協力いただく。
- ・ 同じ指導者の方々に負担が集中することを避けるという点から、指導者として御協力いただける方を増やしていくように、講師の方々と相談していく。
- ・ 児童数の減少から、打囃子の参加者を現在の4～6年生から、3～6年生というように対象を広げることを校内で検討する。

5 その他（主幹教諭 松岡 清貴）

- ・ 第3回目の学校運営協議会は、令和5年2月上旬（9日頃）に行う予定。
- ・ 次回は、今年度の活動の振り返りと、次年度の学校経営の説明の承認について行う。

6 閉会の挨拶

※ 副会長様が御欠席のため、省略

7 閉会